

1969.5.21 KYOTO UNIV. No.7

STRUGGLE

学全共大 京大共闘 京大共闘 京大共闘

- 反大学運動推進 京大時計台占拠 民青一右翼一秩序派粉砕 奥田体制打倒

すべての先進的闘争学生は 京大共闘に結集せよ

無数の橋頭堡から 大学治安立法粉砕

5.23全学バリケード占拠へ!

4.28闘争の総括

京大共闘の課題

4.28闘争の総括... 京大共闘の課題... 闘争の弾圧に 闘争の鉄槌を

全共闘運動を再構築し 根源的変革の論理を復権せよ

全共闘運動の再構築... 根源的変革の論理を復権せよ

全共闘運動の再構築 根源的変革の論理を復権せよ

全共闘運動の再構築... 根源的変革の論理を復権せよ

全共闘運動の再構築 根源的変革の論理を復権せよ

全共闘運動の再構築... 根源的変革の論理を復権せよ

権力の弾圧に 闘争の鉄槌を

権力の弾圧に 闘争の鉄槌を

四月闘争にむけて全共闘運動

四月闘争にむけて全共闘運動

五月六月闘争への進軍

五月六月闘争への進軍

学大 学大 学大

学大 学大 学大

現代アニキズムの論理

現代アニキズムの論理

現代アニキズムの論理

現代アニキズムの論理

都市の論理

都市の論理

武闘派宣言

武闘派宣言

# 反大学よりの報告書



《総括と展望》

## 反大学運動の軌跡

### 全共闘運動の深化

1969年、反大学運動は、学生運動の中心として、全共闘運動の深化を遂げた。この運動は、単なる学生運動を超え、社会運動へと発展した。その軌跡を振り返ると、1968年の学生運動の激化から始まり、1969年には、全共闘運動が全国的に展開された。この運動は、学生だけでなく、教職員、市民、労働者など、幅広い階級に波及した。その結果、社会の各方面に大きな影響を与えた。この運動の深化は、学生運動の歴史において重要な転機となった。

## 研究室管理で労働力商品

### 再生産の過程を断て

研究室管理は、学生を労働力商品として扱う過程を断つための重要な手段である。現在の研究室管理は、学生を単なる労働力として利用している。これは、学生の人権を侵害し、その再生産の過程を断つている。学生は、知識を習得し、自己を成長させるべき存在である。しかし、現在の研究室管理は、学生を労働力として扱い、その再生産の過程を断つている。これは、学生の人権を侵害し、その再生産の過程を断つている。学生は、知識を習得し、自己を成長させるべき存在である。しかし、現在の研究室管理は、学生を労働力として扱い、その再生産の過程を断つている。これは、学生の人権を侵害し、その再生産の過程を断つている。

1. 学生運動の激化
2. 全共闘運動の展開
3. 社会運動への波及
4. 学生運動の深化
5. 労働力商品としての学生
6. 再生産の過程の断絶
7. 学生運動の持続
8. 社会運動の発展
9. 学生運動の成果
10. 社会運動の展望

## 理学部闘争

### 《中間総括と展望》

理学部闘争は、学生運動の重要な一環として展開された。この闘争は、学生と教職員との対立を激化させた。その結果、学生は、自己の権利を主張し、社会運動へと発展した。この闘争は、学生運動の深化を促し、社会運動へと発展させた。その結果、学生は、自己の権利を主張し、社会運動へと発展した。この闘争は、学生運動の深化を促し、社会運動へと発展させた。その結果、学生は、自己の権利を主張し、社会運動へと発展した。

進撃 No.10 20円  
文壇戦線 No.5 20円

## 都市と蜂起

異貌の構図  
視点の思想

永田書房

# 智慧の叢

山本義隆著 東大解体まで



東大闘争の止むに立ち、行動を果して権力への敵対に迫った者の終りなき闘争の論理を、物理学者の尖鋭な知性で展開する疑難された怒りの情状論は、学生だけでなく激動の現代を真実に探照して生きるすべての人に深い感動を喚起するに十分な力がある。

## わが愛と叛逆

東大闘争への遺書

前衛社

永田書房



# 京大四月闘争総括 — 闘争を座標軸に —

東大、日大闘争が急激に上り地味を、その原動力として、燃え上がった。全国学園闘争は、激しい闘争を経て、未だに燃え上がっている。その中で、京大の闘争は、全国的な闘争の座標軸として、重要な位置を占めている。以下、京大の闘争を、座標軸として、総括する。

4. 2000人の闘争、日大闘争に呼応する70年代代闘争の座標軸として、全国的な闘争の座標軸として、重要な位置を占めている。以下、京大の闘争を、座標軸として、総括する。

## 第I章

1. 京大闘争の背景  
2. 京大闘争の経緯  
3. 京大闘争の意義

### 政治過程的総括 京大全共闘にとって 四月闘争とは何であったか

四月闘争は、京大全共闘にとって、重要な政治過程であった。この闘争を通じて、京大生は、全国的な闘争の座標軸として、重要な位置を占めた。以下、政治過程的総括を述べる。

1. 四月闘争の背景  
2. 四月闘争の経緯  
3. 四月闘争の意義



## 第II章

1. 組織運動論的総括  
2. 京大闘争の主体的展望  
3. 京大闘争の意義

### 組織運動論的総括 京大闘争の主体的展望 として全共闘運動とは何か

組織運動論的総括を通じて、京大闘争の主体的展望を明らかにする。全共闘運動とは、全国的な闘争の座標軸として、重要な位置を占める。以下、組織運動論的総括を述べる。

1. 組織運動論的総括  
2. 京大闘争の主体的展望  
3. 全共闘運動とは何か

1. 京大闘争の意義  
2. 京大闘争の展望  
3. 京大闘争の意義

## 第III章

1. 帝大に求めるものは何もない  
2. 京大全共闘は一切の正常化策動を粉砕する  
3. 全学バリケード封鎖を貫徹し  
4. ASPAC—外相訪米阻止  
5. 70年代階級闘争へ進撃せよ！

1. 帝大に求めるものは何もない  
2. 京大全共闘は一切の正常化策動を粉砕する  
3. 全学バリケード封鎖を貫徹し  
4. ASPAC—外相訪米阻止  
5. 70年代階級闘争へ進撃せよ！

# 若の上がれるの世界を

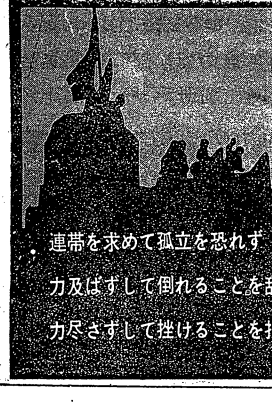
ドキュメント 東大闘争

## 東大全学共闘会議編

輝やかなしい戦闘の中間総括1500枚 / 全国学園闘争を闘うすべての友へ われわれはかく闘った

連帯を求めて孤立を恐れず  
力及ばずして倒れることを辞さないが  
力及ばずして挫けることを拒否する

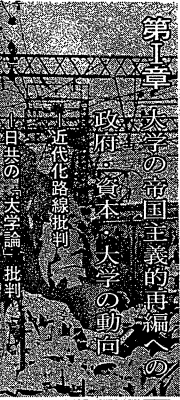
〈お近くの書店へ予約してください〉 東京都千代田区神田保町1-5-12 張森 電話 144037 交 亜紀書房



- 安保闘争 400
  - 装甲車と青春 400
  - 社会観の探求 400
  - 民主主義の神話 400
  - 唯物論と主体性 400
  - 過渡期の意識 400
  - 資本論の私の歩み 400
  - 日本共産党史 400
- 現代思潮社

中教審—大学治安立法  
粉砕のために

教育学部院生共闘会議



近現代学統批判

UNESCOが定める教育の権利の原則を、戦前の大東亜会議で採択した「教育の権利宣言」は、戦後の国際教育の規範として、広く受け入れられ、多くの国がこれを自国の憲法や教育基本法に反映させた。...

下闘委—四月の彗星

軌跡日録闘争委声明

下闘委は、四月の闘争を通じて、多くの同志を交え、我々の主張を力強く打ち出した。これは、戦後教育の根本的な変革を求め、学生の権利を擁護する重要な一歩であった。

第二章 中教審の批判

学生対策：政治対策的発想



中教審の政策は、学生の権利を無視し、政治的発想に基づいて制定された。これは、戦後教育の民主化を阻害し、学生の自由な学問活動を抑制するものである。

第三章 中教審の階級的性格

中教審が教育界の上層に存在する理由



中教審は、教育界の上層に存在し、階級的性格を有している。これは、戦後教育の民主化を阻害し、学生の自由な学問活動を抑制するものである。我々は、この中教審の政策を徹底的に批判し、戦後教育の根本的な変革を求め、学生の権利を擁護する重要な一歩を踏み出す。

空前の叛逆のワケをきかずいた日大文理学部闘争委員会が闘いの中から送る理論機関誌  
日本大学全学共闘会議 創刊号  
文理学部闘争委員会理論機関誌  
**日大斗争**  
特集—日大闘争・その政治的総括  
A 5判 102ページ 活版9ボ3段組 頒価150円